

附属病院

総合診療部

著書

- 1 岩永英之：疲労を訴える患者へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 82-88。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 2 岩永英之：閉塞性頭部外傷後の患者へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 254-259。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 3 鐘ヶ江寿美子：多種類の環境アレルギーがある患者へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 106-113。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 4 鐘ヶ江寿美子：内科慢性疾患患者へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 201-210。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 5 小泉俊三：慢性疲労症候群へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 99-105。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 6 小泉俊三：ベッドサイドで使える簡便な診断面接プロンプト。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 667-669。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 7 小泉俊三：成人の腹痛。多賀須幸男，三田村圭二，幕内雅敏 編：今日の消化器疾患治療指針。第2版 203-208。医学書院。東京 2002。
- 8 小泉俊三：消化器系の症状 腹痛(第2章 どのような症状があるのか)。日野原重明，井村裕夫 監修：看護のための最新医学講座 第32巻 医療面接から診断へ。第1版 257-267。中山書店。東京 2002。
- 9 三好紀子：過敏性腸症候群の患者へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 114-121。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 10 三好紀子：人生の終末期における治療決断。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 169-177。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 11 毛利貴子，小泉俊三：意識消失を主訴に来院した軽症うつ の 1 症例。身体疾患と不安・抑うつ研究会編：症例に学ぶ身体疾患と不安・抑うつ。149-155。ヴァンメディカル。東京都 2002。
- 12 小田康友，小泉俊三：腹部と泌尿生殖器の診察。大滝純司，仲田和正 編：コアカリキュラム対応診療の基本 349-354。金芳堂。東京 2002。
- 13 大西弘高：手足がしびれる。松村真司，北西史直，川畑雅照編：総合外来初診の心得21か条。医学書院。東京 2002。
- 14 大西弘高：紹介へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 619-627。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。
- 15 大西弘高：プライマリケア医と精神科医との協働的治療へのアプローチ。兼子 直，福西勇夫監訳：MGH「心の問題」診療ガイド。第1版 628-635。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2002。

- 16 *佐藤 武, 小泉俊三 (監訳協力): 兼子 直, 福西勇夫 監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 17 *重本洋定, 山田隆司, 三瀬順一, 山岡雅顕, 藤田伸輔, 山田雅彦, 和座一弘, 瀧谷泰博, 吉野範秀, 大西弘高 (日本プライマリ・ケア学会国際疾病分類研究会委員), プライマリ・ケア国際分類, 第2版: 愁訴に始まる疾病分類 ICPC-2, 日本プライマリ・ケア学会, 東京 2002.
- 18 白浜雅司: 分担執筆, 赤林 朗, 大林雅之編: ケースブック医療倫理, 第1版, 医学書院, 東京 2002.
- 19 白浜雅司: 悪い知らせを知らせる, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 162-168, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 20 白浜雅司: インフォームドコンセントへのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 641-646, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 21 薬師寺聡美: 癌患者へのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 142-149, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 22 薬師寺聡美: 緩和ケアを受けている患者へのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 150-161, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 23 山田雅彦: 禁煙へのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 590-595, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 24 山田雅彦: 有用な運動療法と減量へのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 596-603, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 25 山城清二: めまいを訴える患者へのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 78-81, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.
- 26 山城清二: さまざまな身体症状を訴える患者へのアプローチ, 兼子 直, 福西勇夫監訳: MGH「心の問題」診療ガイド, 第1版 89-98, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 東京 2002.

2001年著者追加分

- 1 大西弘高: 診療録の記載法, 小泉俊三, 川越正平, 川畑雅照編: レジデント臨床基本技能イラストレイテッド (第2版), 76-81, 医学書院, 東京 2001.
- 2 大西弘高: 病診連携のとり方, 吉岡成人, 大西利明: 糖尿病患者を外来で上手にみるための21のルール, 206-208, 医学書院, 東京 2001.

学術論文

- 1 江村 正: 前医の言う「抗生物質が効かない」とは, JIM 12: 60-61, 2002.
- 2 江村 正: どうやって膠原病を否定するか, JIM 12: 167, 2002.
- 3 江村 正: 細菌感染症とウイルス感染症の違いは, JIM 12: 225, 2002.
- 4 江村 正: “黄色ブドウ球菌性” “心内膜炎” に強くなれ, JIM 12: 345, 2002.
- 5 江村 正: なぜ私が “骨シンチ” をやれと言うのか, JIM 12: 451, 2002.
- 6 江村 正: 結核は “何でもあり”, JIM 12: 561, 2002.
- 7 江村 正: 診断の難しい悪性リンパ腫について, JIM 12: 675, 2002.
- 8 江村 正: 血球貪食症候群について, JIM 12: 773, 2002.
- 9 江村 正: アルコール関連問題に強くなれ, JIM 12: 873, 2002.

- 10 江村 正：片麻痺を伴う意識障害と頭部 CT. JIM 12：977, 2002.
 - 11 江村 正：どんな時でも薬剤性（医原性）を疑え. JIM 12：1075, 2002.
 - 12 江村 正：既に広がった癌. JIM 12：1159, 2002.
 - 13 *S.Fukuhara, S.Tomita, T.Fujisato, S.Yamashiro, Y.Ohtsu, M.Ishida, C.Yutani, S.Kitamura, T. Nakatani.: Bone Marrow Cell-Seeded Biodegradable Polymeric Scaffold Enhanced Angiogenesis and Improved Cardiac Function of Infarcted Rat Heart. Circulation. 106 [suppl II]: A1869, 2002.
 - 14 小泉俊三：総合診療の目指すもの—EBMと「医療の質改善」（医療改革に複眼で迫る—2）. 新医療（2月号）エムイー振興協会. 東京 2002.
 - 15 小泉俊三：プライマリ・ケアにおける超音波診断. 臨床と研究 79 1282-1285, 2002.
 - 16 小泉俊三：腹痛診療のストラテジーと最近の動向（症例が明かす腹痛診療のコツ）. JIM 12(9)：816-817, 医学書院. 東京 2002.
 - 17 小泉俊三：総合診療部のコーディネーション機能とリエゾン精神医学. 精神科治療学 17(12)：1489-1492, 星和書店. 東京 2002.
 - 18 小泉俊三：「悪い知らせを伝える」—癌告知／難病告知に際しての“こころ”の対話（内科臨床における“こころ”と“からだ”—診療の現場での心身医療）. medicina 39(13), 医学書院. 東京 2002.
 - 19 *松井幸子, 佐藤 武, 大西弘高, 小泉俊三：大学病院と地域支援病院のプライマリ・ケア部門における精神疾患の有病率に関する比較調査—予備調査. 総合病院精神医学14：38-43, 2002.
 - 20 小田康友, 小泉俊三：卒前・卒後における外来診療教育 佐賀医科大学における取り組み. JIM. 12：140-143, 2002.
 - 21 大西弘高. サイエンスとしての医学教育. 現代医療 34：1717-1722, 2002.
 - 22 白浜雅司：プライマリケアで困っていることとその対処法. 治療 84：614-618, 2002.
 - 23 白浜雅司：倫理的な配慮. 治療 84：2555-2562, 2002.
 - 24 白浜雅司：地域の保険センターでの取り組み—三瀬村スマイルセンター—. 治療 84：3000-3005, 2002.
 - 25 白浜雅司：地域の診療所で学ぶ, 保健医療福祉の連携. 看護教育 43：1043-1048, 2002.
 - 26 *丹羽雅之, 高橋優三, 大西弘高：医学教育部門・医学教育開発研究センターの役割. 現代医療 34：1532-1538, 2002.
- 2001年学術論文追加
- 1 江村 正：手足のしびれ. 治療増刊号 83：625-628, 2001.
 - 2 江村 正, 白浜雅司, 薬師寺聡美, 三好紀子, 中本浩史, 石井賢治, 大西弘高, 山田雅彦, 山城清二, 小泉俊三：佐賀医科大学総合診療部を受診した患者の癌告知に関する希望の調査. 日本プライマリ・ケア学会誌 24：138-143, 2001.
 - 3 *江副聡, 大西弘高, 小泉俊三：紹介状なしにセカンド・オピニオンを求めて大学病院を受診した患者の心理的背景. 家庭医療 8：17-22, 2001.
 - 4 *細野なつ絵, 大西弘高：小泉俊三：頭痛で受診した総合外来患者の受療行動, 心理社会的背景, アウトカムに関する質的研究. JIM 11：145-149, 2001.
 - 5 大西弘高, 小泉俊三：EBMの実践：臨床上の疑問の定式化. JOHNS 17：965-968, 2001.

学会発表

- 1 *江原美智子, 永井恒志, 銘刈美世, 大林祐子, 内片健二, 米山克二郎, 岡田まゆみ, 泉本典彦, 小松裕和, 市村公一, 大西弘高: Eメールネットワークにおける症例から診断想起する形式の全国的学習の試み. 医学教育 33巻:326, 2002.
- 2 * S.Fukuhara, S.Tomita, T.Nakatani, T.Fujisato, S.Yamashiro, Y.Ohtsu, M.Ishida, C.Yutani, S. Kitamura.: Bone Marrow cell-transplanted biodegradable scaffold enhanced angiogenesis and improved cardiac function of infarcted rat heart. (poster) International Symposium on CardioVascular Remodeling and Function. 2002. Japan.
- 3 *黒岩かをる, 大西弘高, 坊野洋子, 藤岡利生, 中野重行: 医療面接における学習目標を研修医はどう認識しているか. 医療面接教育セッション前後での比較. 医学教育 33巻:368, 2002.
- 4 Y Oda, H Onishi, S Emura, M Yamada, S Yamashiro, S Koizumi: Patient's Satisfaction to the Humanistic Quality of Medical Students Improved with the Introduction of Tutorial Sessions and the Modification of Objective Structured Clinical Examination. The Society of General Internal Medicine the 25th Annual Meeting. May 3 2002.
- 5 小田康友, 山城清二, 小泉俊三: 外来実習へのチュートリアル学習と OSCE の導入による医学生の外来実習に対する患者満足度の向上. 第34回医学教育学会. 2002, 7, 27. 日本医学教育学会誌 33:418.
- 6 Onishi H, Elstein A, Bordage G, Schwartz A: Effects of clinical experience and case difficulty on the type and distribution of diagnostic errors. Ottawa Conference 2002, Ottawa, 2002 Jul 15.
- 7 大西弘高, 伴信太郎: 医学教育のアウトカム研究について. 第10回日本総合診療医学会学術集会. 2002, 2, 16. 日本総合診療医学会誌 7:41 (ワークショップ).
- 8 大西弘高, 林 省吾: 医学教育プログラム評価のサイエンス. 第34回日本医学教育学会大会. 2002, 7, 26. 医学教育 33:298.
- 9 山田雅彦, 山城清二, 小田康友, 稲田博道, 山下友子, 花谷誠也, 毛利貴子, 上野智代, 小泉俊三: 不安, 抑うつを基礎とする胸部症状の心拍変動からみた特徴. 第99回日本内科学会. 2002, 2, 20. 日本内科学会雑誌第91巻:186.
- 10 山城清二, 小田康友, 小泉俊三: 医学生の医療面接 OSCE における模擬患者の評価と教官評価の違いを生じさせる要因の検討. 第34回日本医学教育学会大会. 2002, 7, 26. 予稿集:73.
- 11 山城清二, 武田裕子: 総合診療の研修医教育担当者のための SGD. 第10回日本総合診療医学会. 2002, 2, 16. 日本総合診療医学会誌 6(1):41 (ワークショップ).
- 12 山下友子, 山田雅彦, 岩永智代, 毛利貴子, 花谷誠也, 稲田博道, 小田康友, 山城清二, 小泉俊三: 診断の困難であった例(診断確信度の低いケース)に対するアプローチの手法に関する考察. 第10回日本総合診療医学会. 2002, 2, 16. 日本総合診療医学会誌 第7巻1号 P.44.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	小泉 俊三	平成14年度厚生労働科学研究費補助金	医療技術評価 総合研究事業	臨床研修医を対象としたEBM普及支援システムの開発に関する研究	12,000
助手	小田 康友	平成14年度文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	外来患者の満足度評価を指標としたOSCE・客観的臨床能力試験の妥当性に関する研究	1,200
助手	山田 雅彦	平成13, 14年度課題研究		プライマリ・ケアにおける面接法 具体的面接技法の設定による気分、感情の問題に対する検出、その効果	200

医療情報部

学術論文

- 1 °Muro M, Shono H, Shono M, Ito Y, Uchiyama A and Iwasaka T: Analysis of the influence of diurnal variation in maternal movements on fetal heart rate acceleration. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*. 56: 247-248, 2002.
- 2 Shono H, Shono M, Takasaki M, Iwasaka T and Sugimori H: A New Method to Determine a Fractal Dimension of 24-H Fetal Heart Rate Fluctuation. 54th Annual Congress of the Japan Society of Obstetrics and Gynecology. 49-52, 2002.
- 3 Shono H, Shono M, Takasaki M, Iwasaka T and Sugimori H: Differences in fractal structure of adult heart rate fluctuation between successive rapid eye movement sleeps: Case report. *Psychiatry and Clin. Neurosciences*. 56: 281-282, 2002.
- 4 高崎光浩, 庄野秀明, 田中健次, 砂山富恵, 秋山幸子, 諸隈裕基, 井上謙一, 只野壽太郎: 脱ホストシステムに向けた医療情報部スタッフに対する情報再教育の必要性について. 国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議論文集 73-76, 2002.
- 5 高崎光浩, 水主いづみ, 岩本幸子, 忽那龍雄, 庄野秀明: Web-based teaching (WBT) におけるオンラインリアルタイムフィードバック方式の有用性について. 日本教育工学会研究報告集 467-468, 2002.
- 6 °十時忠秀, 中島幹夫, 今福ひとみ, 高崎光浩: 佐賀医科大学医学部附属病院手術部における保険請求漏れに関する実態調査報告. *手術医学* 23(1): 10-12, 2002.

学会発表

- 1 *藤井 毅, 室 雅巳, 庄野真由美, 内山 章, 前田祐里, 庄野秀明, 岩坂 剛: 母体心拍数における日内変動の解析—妊娠中毒症, 塩酸リトリン投与の影響. 第54回日本産科婦人科学会. 2002, 4, 9. *日産婦誌* 54: 446.
- 2 *Harano K, Araki K. and Takasaki M: Anatomical Relationships among Intercostal Arteries, Veins and Nerves; Thoracoscopic Observation. 2002, 10, 14. 2002 Annual Meeting of Am. Soc. Anesthesiology: A839.